

# 因島業界動向

2024年10月～12月

(令和6年10月～12月)

因島商工会議所

## 調査の概要

1. 調査方法 FAX送信・オンライン回答によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和6年12月の状況と前年同月調査との比較  
②同一項目における令和7年1月～3月の先行き見通し
3. 調査時期 12月初旬～下旬
4. 調査対象 50社(製造業:18社 非製造業:32社(▲2))
5. 回収状況 32社(製造業:15社 非製造業:17社(▲2))※内オンライン回答 12社(+2)  
回答率 64.0% (前回比▲1.4% ※日商LOBO調査含む)
6. 回答構成比率

回答の構成	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回	64.0%	46.9%	15.6%	12.5%	9.4%	15.6%
前回比	-1.4%	2.8%	0.9%	-2.2%	0.6%	-2.0%
前回	65.4%	44.1%	14.7%	14.7%	8.8%	17.6%

**DI:** 各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格: DI = (下降) - (上昇)

製品・商品在庫: DI = (不足) - (過剰)

# 1. 【因島経済動向調査(DI方式)報告】

## ～因島景況の総括 令和6年12月期～

全業種DI(良い－悪い)は、▲12(前回調査▲35、R5.12月調査▲25)で前回調査から比較すると+23ポイントとなった。業種別は下記の通り。

製造業は、造船・同関連: 20(前回調査 20)、機械金属: 0(前回調査▲20)、食品等▲16(前回調査▲40)で、製造業DIは 0(前回調査 ▲14、R5.12月調査 0)と前回調査より+14ポイント。

非製造業は、建設業: 0(前回調査▲20)、卸売業:▲25(前回調査▲60)、小売業:▲34(前回調査▲50)、運輸・サービス業:▲40(前回調査▲67)で、非製造業DIは▲23(前回調査▲50、R5.12月調査▲39)で前回調査より+27ポイントとなった。

### 【製造業】

マイナス推移ではあるがDI値は大幅に回復。昨年の受注量が極端に減っていたものが反動で今年に集中しているケースも見られた。造船、自動車部品関係は好調を維持。

### 【非製造業】

全業種DI値の回復傾向にあるが、コロナ禍前2019年12月比で約10%の人口減、同年比約3%増の高齢化による商圈縮小も相まって、同地区内を対象としている業種は受注減が続いている。

## 【令和6年12月期 景況DI】

《上段:当月調査分、中段:前回調査分、下段:R5.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>16%</b>	<b>56%</b>	<b>28%</b>	<b>▲ 12.0</b>
(前回)	6%	53%	41%	▲ 35.0
(前年同月)	14%	46%	39%	▲ 25.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>20%</b>	<b>60%</b>	<b>20%</b>	<b>0.0</b>
(前回)	13%	60%	27%	▲ 14.0
(前年同月)	23%	54%	23%	0.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>12%</b>	<b>53%</b>	<b>35%</b>	<b>▲ 23.0</b>
(前回)	0%	50%	50%	▲ 50.0
(前年同月)	9%	43%	48%	▲ 39.0

## 【令和7年1月～3月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI(良い－悪い)は▲32(前回月調査▲18、R5.12月調査▲22)と前回調査比で▲14ポイントの見通しである。

製造業は、造船・同関連:20(前回調査 0)、機械金属: 0(前回調査 ▲20)、食品等▲50(前回調査 0)で、製造業DIは▲14(前回調査▲6、R5.12月調査 0)と▲8ポイントの見通し。

非製造業は、建設業:▲40(前回調査▲20)、卸売業:▲25(前回調査▲20)、小売業:▲100(前回調査▲50)、運輸・サービス業:▲40(前回調査▲20)で、非製造業DIは▲47(前回調査▲27、R5.12月調査▲35)と▲20ポイントの見通しである。

## 【令和7年1月～3月の先行き見通し 景況DI】

《上段:当月調査分、中段:前回調査分、下段:R5.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>9%</b>	<b>50%</b>	<b>41%</b>	<b>▲ 32.0</b>
(前回)	6%	70%	24%	▲ 18.0
(前年同月)	3%	72%	25%	▲ 22.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>13%</b>	<b>60%</b>	<b>27%</b>	<b>▲ 14.0</b>
(前回)	7%	80%	13%	▲ 6.0
(前年同月)	8%	84%	8%	0.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>6%</b>	<b>41%</b>	<b>53%</b>	<b>▲ 47.0</b>
(前回)	6%	61%	33%	▲ 27.0
(前年同月)	0%	65%	35%	▲ 35.0

～因島生産額・売上の総括 令和6年12月期～

全業種DI(良い－悪い)は▲22(前回月調査▲23、R5.12月調査3)で+1ポイントとなった。

製造業は、造船・同関連: 20(前回調査 20)、機械金属: 0(前回調査▲40)、食品等:▲33(前回調査▲20)で、製造業DIは▲6(前回調査▲13、R5.12月調査 23)と+7ポイントとなった。

非製造業は、建設業: 0(前回調査 20)、卸売業:▲25(前回調査▲40)、小売業:▲34(前回調査 25)、運輸・サービス業:▲80(前回調査▲100)で、非製造業DIは▲35(前回調査▲30、R5.12月調査▲9)と、前回調査から▲5ポイントとなった。

【製造業】

食品業界では、販売大手がデフレの影響で小売希望価格の大幅値引きを実施し店頭価格が下がった為、相対的に高値になった事による売上減少があった。

【非製造業】

依然続いている物価高による家計防衛が売上減少に顕著に現れた他、人件費上昇に伴う価格転嫁が追い付かず収益に直結していないケースも見られた。

【令和6年12月期 売上DI】

《上段:当月調査分、中段:前回調査分、下段:R5.12月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>19%</b>	<b>40%</b>	<b>41%</b>	<b>▲ 22.0</b>
(前回)	18%	41%	41%	▲ 23.0
(前年同月)	36%	31%	33%	3.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>27%</b>	<b>40%</b>	<b>33%</b>	<b>▲ 6.0</b>
(前回)	27%	33%	40%	▲ 13.0
(前年同月)	46%	31%	23%	23.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>12%</b>	<b>41%</b>	<b>47%</b>	<b>▲ 35.0</b>
(前回)	10%	50%	40%	▲ 30.0
(前年同月)	30%	31%	39%	▲ 9.0

【令和7年1月～3月の先行き見通し】

全業種DI(良い－悪い)は▲44(前回月調査▲12、R5.12月調査▲6)で前回調査から▲32ポイントの見通しである。

製造業は、造船・同関連: 0(前回調査 20)、機械金属: 0(前回調査▲20)、食品等▲83(前回調査▲40)で製造業DIは▲34(前回調査▲14、R5.12月調査 16)と前回調査より▲20ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲20(前回調査 20)、卸売業: 0(前回調査 0)、小売業:▲100(前回調査 ▲25)、運輸・サービス業:▲100(前回調査▲40)で非製造業DIは▲53(前回調査▲10、R5.12月調査▲17)と前回調査より▲43ポイントの見通し。

【令和7年1月～3月の先行き見通し 売上DI】

《上段:当月調査分、中段:前回調査分、下段:R5.12月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>9%</b>	<b>38%</b>	<b>53%</b>	<b>▲ 44.0</b>
(前回)	12%	64%	24%	▲ 12.0
(前年同月)	25%	44%	31%	▲ 6.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>13%</b>	<b>40%</b>	<b>47%</b>	<b>▲ 34.0</b>
(前回)	13%	60%	27%	▲ 14.0
(前年同月)	31%	54%	15%	16.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>6%</b>	<b>35%</b>	<b>59%</b>	<b>▲ 53.0</b>
(前回)	11%	68%	21%	▲ 10.0
(前年同月)	22%	39%	39%	▲ 17.0

## 2. 【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項目 年月		残 高 合 計					
		預 金	前年同月 比	貸出金	前年同月 比	預貸率	前年同月 差
令和5年度末		<b>145,558</b>	<b>105.4%</b>	<b>53,535</b>	<b>99.3%</b>	<b>36.8%</b>	<b>-2.3</b>
R6 年度	第1/四期末	143,692	101.8%	52,716	98.2%	36.7%	-1.3
	第2/四期末	142,514	101.3%	53,144	96.8%	37.3%	-1.6
	第3/四期末	142,776	99.0%	53,433	97.5%	37.4%	-0.6

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。

(因島金融懇談会調)

※第3四期は10月末時点の暫定値

## 3. 【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項目 年月		倒 産 件 数		負 債 総 額		備 考
		件 数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	
令和5年度総数		<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	年度計
R6 年度	第1/四期末	0	0	0	0.0	期 計
	第2/四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第3/四期末	0	0.0	0	0.0	〃

(株東京商工リサーチ広島支社調)

## 4. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位:人、倍)

項目 年月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前年比 (%)	人 数	前年比 (%)	倍 率	前 年	
令和5年度平均		<b>2,616</b>	<b>86.2%</b>	<b>1,953</b>	<b>103.9%</b>	<b>1.34</b>	<b>0.83</b>	
R6 年度	第1/四期	2,674	102.7%	2,064	98.0%	1.30	0.06	
	第2/四期	2,645	108.2%	1,901	97.6%	1.39	0.14	
	第3/四期	2,717	103.5%	1,854	99.1%	1.47	0.06	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。

(ハローワーク尾道調)

※第3四期は10月末時点の暫定平均値

## 5.【経営改善資金推薦状況】

(単位:件、万)

年 月	項 目	推 薦					決 定			
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金額	前年比 (%)
令和5年度		19	105.6	13,260	125.3	10,980	2,280	19	13,260	124.9
R6 年 度	第1／四期末	4	57.1	4,650	101.5	3,790	860	4	4,650	101.5
	第2／四期末	3	60.0	1,300	29.6	1,300	0	3	1,300	29.6
	第3／四期末	1	25.0	1,500	65.5	1,500	0	1	1,500	65.5

※件数、金額は集計時以降変動する可能性があります。

(因島商工会議所調)

## 6.【因島商工会議所会員数】

(単位:者、社)

区 分	9月30日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	12月31日現在 会 員 数
法 人	457	1	2	456
個 人	446	2	12	436
合 計	903	3	14	892

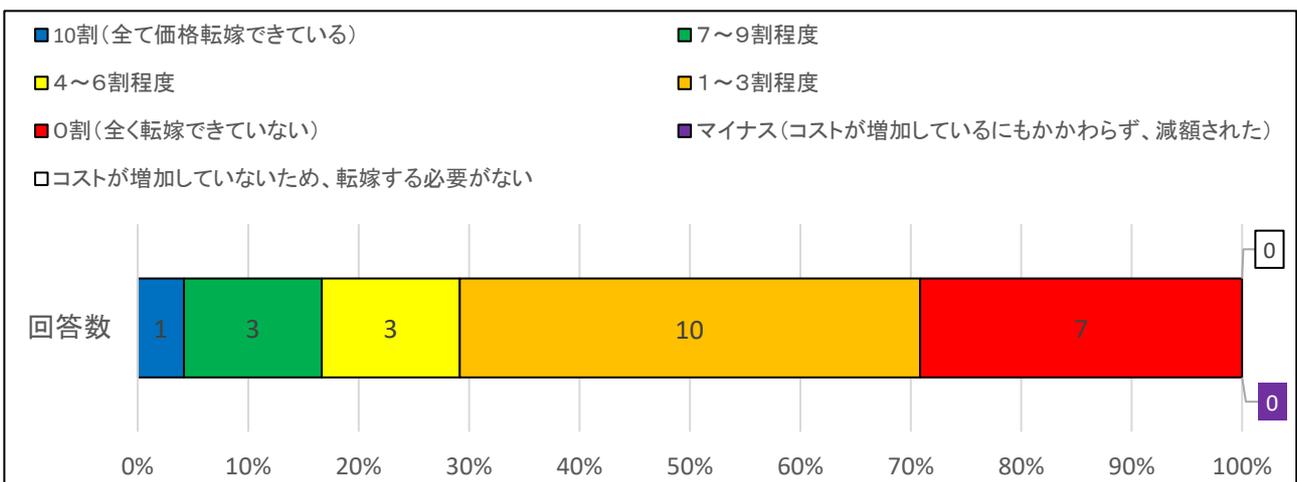
※注:組織変更含む

## 7.【今期のアンケート調査結果】

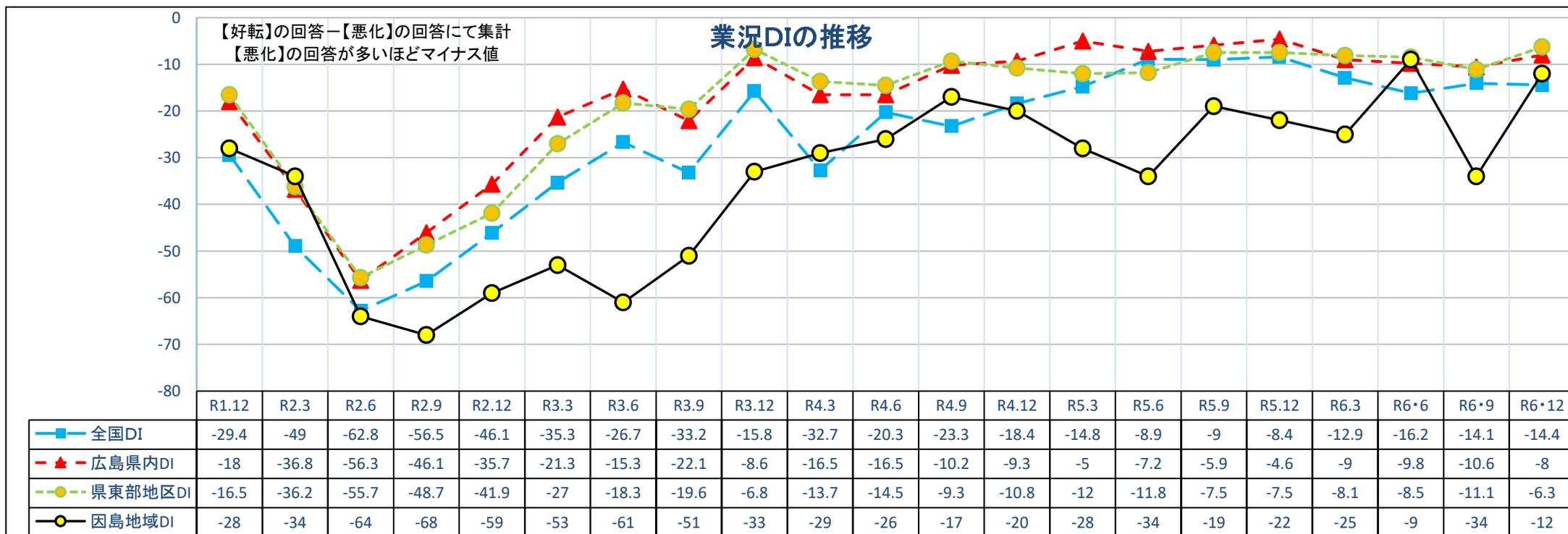
### ◆今期のアンケート調査

回答件数 24件

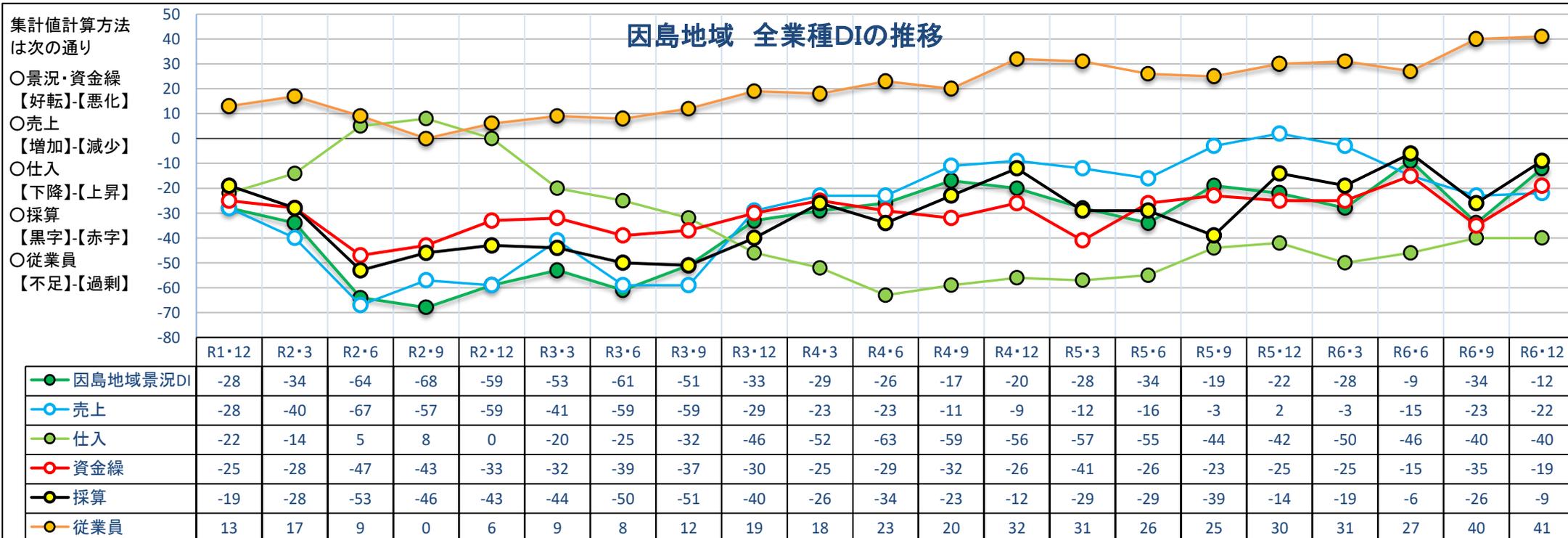
原材料費が継続して高騰し、仕入れ価格上昇に歯止めがかからない中、前年比で全体的なコスト増加分を価格転嫁できたと考えられるかアンケートを実施した結果、7割の企業が価格転嫁を実施と回答。前年調査時回答事業者全て価格転嫁を実施した製造業種は、今回調査で「価格転嫁できていない」の回答が多く見られた。非製造業種においては価格転嫁を実施した回答割合が前年比で増加となった。



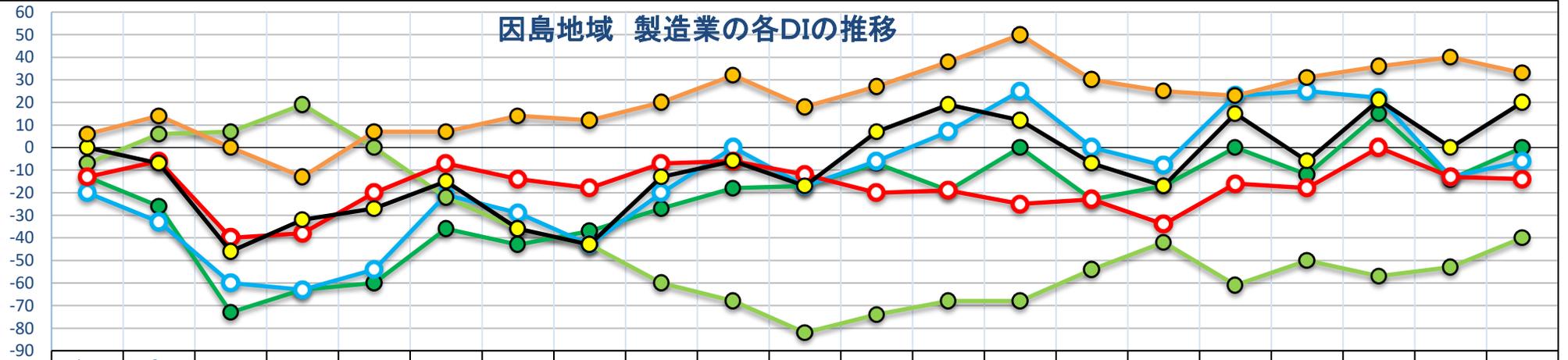
## 9.【因島業界動向 概況】



9

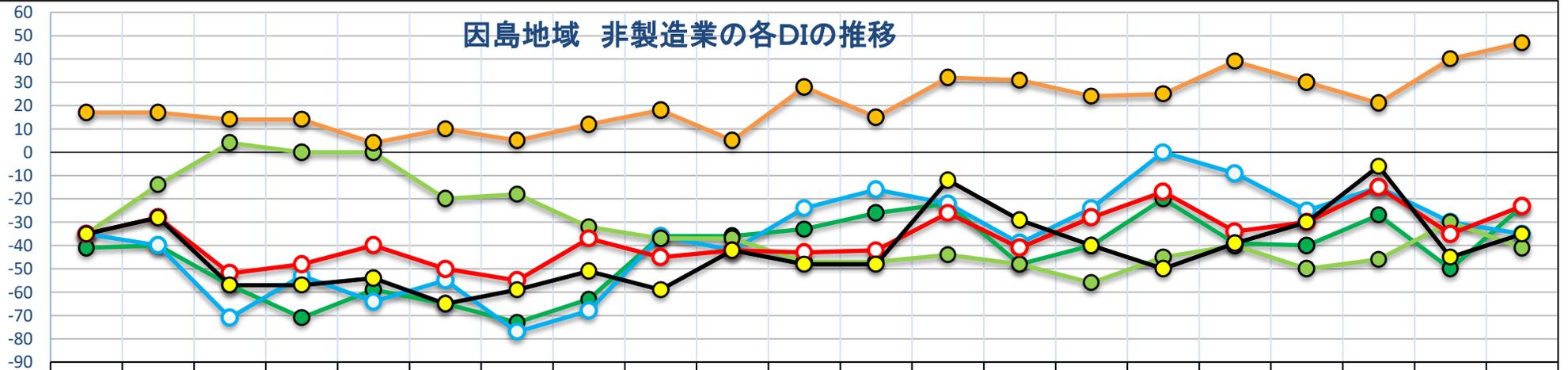


因島地域 製造業の各DIの推移



	R1*12	R2*3	R2*6	R2*9	R2*12	R3*3	R3*6	R3*9	R3*12	R4*3	R4*6	R4*9	R4*12	R5*3	R5*6	R5*9	R5*12	R6*3	R6*6	R6*9	R6*12
● 製造業 景況	-13	-26	-73	-63	-60	-36	-43	-37	-27	-18	-17	-7	-19	0	-23	-17	0	-12	15	-14	0
● 売上	-20	-33	-60	-63	-54	-21	-29	-43	-20	0	-17	-6	7	25	0	-8	23	25	22	-13	-6
● 仕入	-7	6	7	19	0	-22	-36	-43	-60	-68	-82	-74	-68	-68	-54	-42	-61	-50	-57	-53	-40
● 資金繰	-13	-6	-40	-38	-20	-7	-14	-18	-7	-6	-12	-20	-19	-25	-23	-34	-16	-18	0	-13	-14
● 採算	0	-7	-46	-32	-27	-15	-36	-43	-13	-6	-17	7	19	12	-7	-17	15	-6	21	0	20
● 従業員	6	14	0	-13	7	7	14	12	20	32	18	27	38	50	30	25	23	31	36	40	33

因島地域 非製造業の各DIの推移



	R1*12	R2*3	R2*6	R2*9	R2*12	R3*3	R3*6	R3*9	R3*12	R4*3	R4*6	R4*9	R4*12	R5*3	R5*6	R5*9	R5*12	R6*3	R6*6	R6*9	R6*12
● 非製造業 景況	-41	-40	-57	-71	-59	-65	-73	-63	-36	-36	-33	-26	-22	-48	-40	-20	-39	-40	-27	-50	-23
● 売上	-35	-40	-71	-53	-64	-55	-77	-68	-36	-42	-24	-16	-22	-39	-24	0	-9	-25	-15	-30	-35
● 仕入	-35	-14	4	0	0	-20	-18	-32	-37	-37	-47	-47	-44	-48	-56	-45	-40	-50	-46	-30	-41
● 資金繰	-35	-28	-52	-48	-40	-50	-55	-37	-45	-42	-43	-42	-26	-41	-28	-17	-34	-30	-15	-35	-23
● 採算	-35	-28	-57	-57	-54	-65	-59	-51	-59	-42	-48	-48	-12	-29	-40	-50	-39	-30	-6	-45	-35
● 従業員	17	17	14	14	4	10	5	12	18	5	28	15	32	31	24	25	39	30	21	40	47

## 景気観測調査付帯調査結果（令和6年12月分）

### 因島商工会議所

#### 1. 貴社の景況が好転（悪化）した理由についてお聞かせください。

##### 《製造業》

- ・ 6月以降の猛暑／デフレの影響で大手製パン事業者が大幅な値引きを行ったため当社製品価格が相対的に高くなり需要が悪化している。
- ・ 来年価格転嫁する予定。
- ・ 自転車部品が、好調です。
- ・ 造船所の仕事が増えている。
- ・ パートの数が不足している。
- ・ 昨年が極端に受注量が少なく、今期は同年同月の2倍は行くであろう。
- ・ 受注が減少と材料費が上昇の為。
- ・ 住宅業界の低迷。
- ・ 季節によって変わり、又イベント数により好転したり悪化したりする。

##### 《非製造業》

##### ◇建設業

- ・ お客様の高年齢化。
- ・ 原材料仕入れ価格が上がり人件費も上がったが、受注全額への連動があまりないので収益が上がりにくい。
- ・ 人材不足。

##### ◇卸売業

- ・ 家の新築が減少した。

##### ◇小売業

- ・ 島嶼部における人口減、及び物価高による消費の低迷と家計防衛
- ・ 原材料（特に精米）の値上がりと最低賃金の上昇。

##### ◇サービス業

- ・ 公共事業が減り民間の設備投資等も減り土木工事が非常に少ない。
- ・ 人件費・燃料費の高騰。

#### 2. 貴社の来春の採用状況についてお聞かせください

##### 《製造業》

- ・ なし。

- ・採用者はない。
- ・やる気がある人がいれば採用したい。求人募集を出しても、応募すらない。
- ・採用を検討している。
- ・なし。
- ・採用したいが、募集が無い。
- ・社内の新陳代謝を上げる為にも若手の雇用を促進させたい。
- ・なし。
- ・高卒を募集しても来ないので困っている。インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイなど外国人に頼るしかない。

#### 《非製造業》

##### ◇建設業

- ・採用をするまでに至りません。
- ・採用したいが難しい。
- ・応募がない。

##### ◇卸売業

- ・現在は考えていない。

##### ◇小売業

- ・完全な売り手市場で苦戦。

##### ◇サービス業

- ・必要に応じて。
- ・予定なし。